

競技注意事項

1. 本大会は2022年度(財)日本陸上競技連盟規則および、競技注意事項により競技を行う。
2. 感染症対策
 - (1) 参加チームは、選手がそろい次第、体調チェックシートを受け付けに提出すること。
 - (2) 競技中、ウォームアップ中以外は、極力マスクを着用のこと。(熱中症注意)
 - (3) 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でも準備すること)
 - (4) 集団での応援、声を出しての応援は禁止する。(拍手・手拍子での応援をお願いします。)
 - (5) 一般観戦の方は、入り口にてスマートフォンでQRコードを読み取り、登録すること。
スマートフォンでの対応ができない方は、受付にて登録票による登録をお願いします。
 - (6) チーム受付は、1.2年生と3~6年生で分けて行う。
3~6年生 7時10分から、1.2年生は11時からとする。(分散集合にご協力をお願いします)
3. 招集について
 - (1) 招集時間
種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので裏表紙の競技時間表で確認のこと。
招集完了時刻に余裕をもって集合すること。
 - (2) **招集所は、メイン競技場・第1ゲート(ゴール側ゲート)外側に設ける。**
 - (3) 主競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
 - (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた選手は出場を認めない。
招集時にスパイクピンを確認する。(オールウェザー用9mm以下)
2020年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルール(TR5)の適用外とする。
 - (5) リレーは、オーダー用紙を招集完了の1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。(決勝も同様)
棄権する場合は、その旨を口頭で招集所へ申し出ること。
 - (6) オーダー用紙は、TICに準備する。
4. 表彰について
 - (1) 各種目 1位~3位まで賞状とメダル、4位~8位まで賞状を授与する。
 - (2) 感染症対策として、個人種目、リレーの表彰は行わない。入賞者は、エントランスホールまで表彰状・メダルを取りに来ること。
 - (3) クラブ対抗の部の表彰は、競技終了後に代表者のみで行う。団体総合優勝チームと男・女優勝チームにトロフィーと賞状、2~3位チームに賞状を授与する。
5. 競技方法について
＜トラック競技＞
 - (1) スターターの合図はイングリッシュコール「On your marks」「Set」とし、信号は電子音で行う。
スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートを認める。
スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。(素足は禁止する)
ただし、1.2年生60m、3年生60m予選は、スターティングブロックの設置はしない。
 - (2) 同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 - (3) トラックレースにおいて、スタート前に腰ナンバーカードの代用として、レーンを示す色テープを配布するので、右腰やや後方に貼り付けること。ただし、バックストレートを使用する競技は、レーン番号を記入した白テープを配布するので、右腰やや後方に貼り付けること。
 - (4) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
 - (5) 800mのスタート方法は、セパレートレーンでのスタートとする。

- (6) リレー競技に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- (7) 3年60m、4年100m、5年100m、6年100m、80mH、400mリレーの予選は、タイムレースとし、上位8人（チーム）により決勝を行う。
- (8) 1生60m、2年60m、5年800m、6年800mは、タイムレース決勝とする。
- (9) 3年女子60m予選・4年女子100m予選は、バックストレートで実施する。

<フィールド競技>

- (1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
走高跳のバーの上げ方（天候等により変更有）
（練習） （開始）
0m90 0m95 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20（以後5cm）
- (2) 走幅跳は2回の試技を行い、さらに上位8人により2回の試技を行ない順位を決定する。
- (3) ジャベリックボール投げの練習は、主競技場内で実施する。補助競技場および競技場周辺での練習は厳禁とする。
- (4) ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持つて投げることは禁止する。
ジャベボールを使用し、全員3回の試技を行ない順位を決定する。
<クラブ対抗戦>
- (1) クラブ対抗戦については、各種目1位8点・・・8位1点とする。
5年以上の個人種目、リレーで得点を競う。（4年以下の個人種目は含まない。）

6. ベンチについて

- (1) 各チームのベンチは、メインスタンド通路より上、コンコース、雨天走路横に指定する。
メインスタンドの通路より上、およびコンコース・雨天走路横を事前に割り振る。
・メインスタンド通路より上については地区ごとに割り振る。
・コンコース・雨天走路横については、大会運営に協力いただけるチームを優先的に割り振る。
- (2) メインスタンドの通路より下は、保護者の応援場所とするのでベンチの設置を禁止する。

7. 主競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

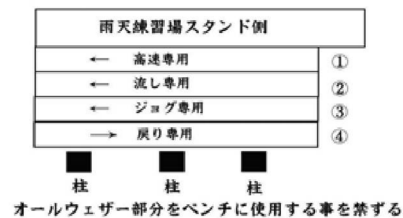
8. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない

9. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

- (1) 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。（ADで規制する）
- (2) ベンチを設置することを禁止する。
- (3) ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- (4) 1レーンは、長距離のペース走専用とする。2～4レーンは、流し等の専用とする。
- (5) 直走路5～7レーンはスタートダッシュ専用とする。8レーンはハードル専用とする。
- (6) リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- (7) 走幅跳の練習は所定のピットで行う。
- (8) 走路及びピットに立ち止まっただけの指導等を禁止する。
- (9) 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。
- (10) その他、競技役員の指示に従うこと。

10. 雨天練習場の使用については、次のことを厳守すること。

- (1) スタンド側より
1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。
3レーンは、ジョグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。
走路の横断は厳禁する。
- (2) 全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



11. その他

- (1) メインスタンド1階の入場は、競技役員及びクラブ対抗の表彰を受ける選手、AD着用者（各チームに受付で配布する指導者用ADは除く）のみとする。
- (2) 雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。
- (3) 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- (4) プログラムの訂正は**8時30分**までにTICまで申し出ること。
- (5) 申込不備による訂正は受付けない。競技開始後の訂正は一切受付けない。
- (6) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。持ち物の保管は各自で責任を持つこと。また、カラス被害に注意のこと。
- (7) 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）
- (8) スマートフォン・タブレットでの撮影は可とする。望遠付きカメラ、ビデオカメラでの撮影は不可とする。撮影禁止エリアが設定されているので、厳守のこと。
- (9) 参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表及びホームページに使用する。又、大会出場中における映像・写真・記録等への記載権は主催者に属す。